

フライン概要（必ずお読み下さい）

フラインに参加されるパイロットは、皆様必ず飛行前にアメリカ海軍天文台（USNO）発表の現在時刻と時計を合わせて下さい。パイロットの時計とUSNO発表時刻の誤差は最大で15秒までとしてください。GPS時計はUSNO発表の時刻と同等に正確とされていますので、GPS時計を代用とすることも可能です。USNO時刻は、電話1(202)762-1401又は-1069、またはインターネット
[<http://www.usno.navy.mil/USNO/time/display-clocks/simpletime>]で確認できます。

横田アプローチとコンタクトする前、またはアプローチ域内で離陸した場合は、離陸後可能な限りすぐにATIS(128.4)をモニターし、最新の天候状況、使用滑走路、そしてその他の航空情報を受領してください。

天候が雲低2,000フィート以下または視程3マイル以下の場合はIFR（計器飛行方式）での飛行となります。それ以上の天候状況では、VFR（有視界飛行方式）のみでの進入となります。

レーダーモニタリングは必須ではありませんが、安全のため自主的な参加を奨励いたします。レーダーモニタリングは横田アプローチから、管制官の業務量に応じ任意で提供されます。

空域の混雑防止およびトラフィックフローの円滑化のため、到着時および出発時ともに、横田基地での場外周回経路使用や、タッチアンドゴーなどの訓練は認められません。管制官やその他の担当部署による指示が適切に守られない場合は、パイロットと登録機の今後の会議への参加拒否や、日本国国土交通省航空局への通報等を行うことがあります。

横田通信周波数

ATIS	128.4
アプローチ（5001フィート以上）	118.3
アプローチ（5000フィート以下）	120.7
タワー	134.3
グラウンド	133.2
クリアランス（IFR出発時）	131.4
ディパーチャー	122.1
ベースオペレーション	119.0

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

横田航空保安施設

タカン TACAN /DME YOK 113.8

飛行計画

飛行計画は、目的地を横田 (RJTY) とし、必要であれば代替目的地を指定して提出してください。横田から出発する場合の飛行計画は、空軍様式 DD Form 1801 International Flight Plan を使用し、到着時に横田ベースオペレーションへ提出してください。横田出発の飛行計画は必ず、横田基地へご提出下さい。皆様の到着時に担当南湖^{なんこ}がお預かりいたします。出発前には、ノータムと気象情報の提供があります。帰路に確認の必要な空港の ICAO コードをお知らせ下さい。飛行計画は、署名された原本をご提出下さい。

到着時刻の割り当て (スロットタイム) について

参加機すべてにそれぞれの到着割り当て時刻 (スロットタイム) および高度が付与されます。各参加機は、義務位置通報点 (ポイント) にスロットタイム 10 分程度前に着くことが求められます。各参加機同士の時間的セパレーションはおよそ 3 分、高度的セパレーションは 3000、2500、2000 フィート MSL です。

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

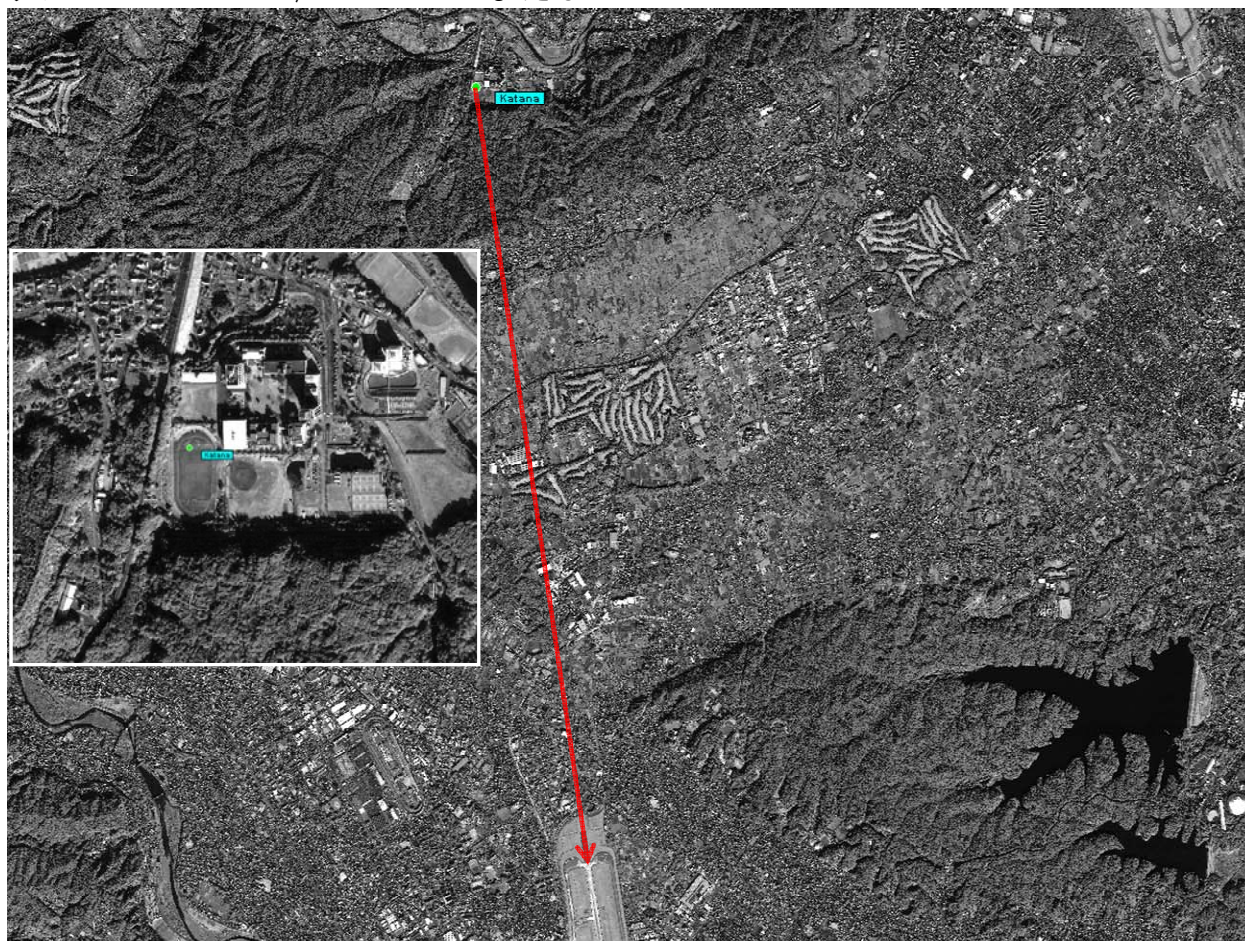
Flight Operations Manual

VFR到着機 義務位置通報点(ポイント)

滑走路 18 使用時

KATANAポイント：滑走路 18 の延長線上 5 マイル北（駿河台大学上空）

タカンYOK 357° /5nm DME または N35° 49' 53" E139° 19' 52"



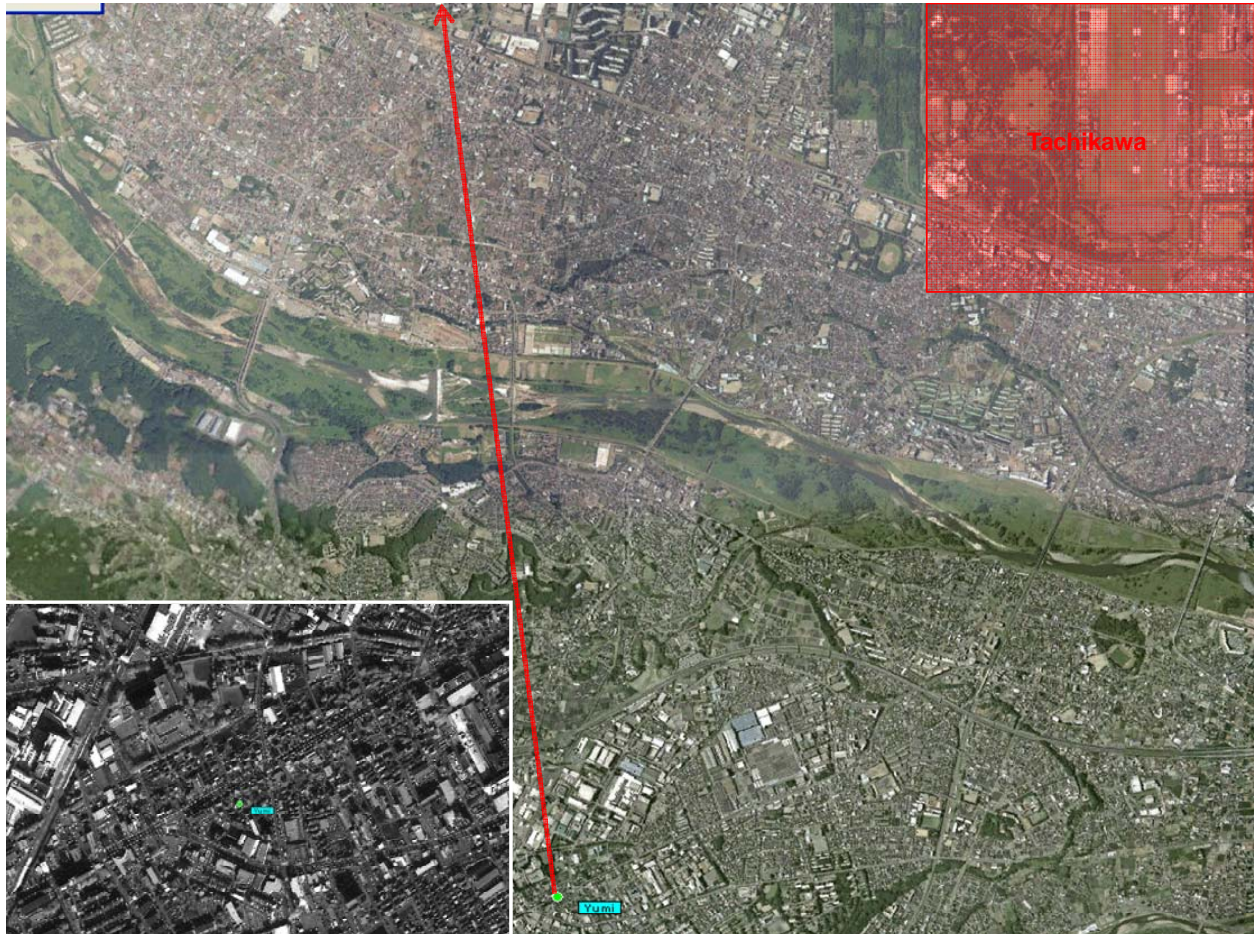
Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

滑走路 36 使用時

YUMI ポイント : 滑走路 36 の延長線上 5 マイル南 (北八王子駅上空)

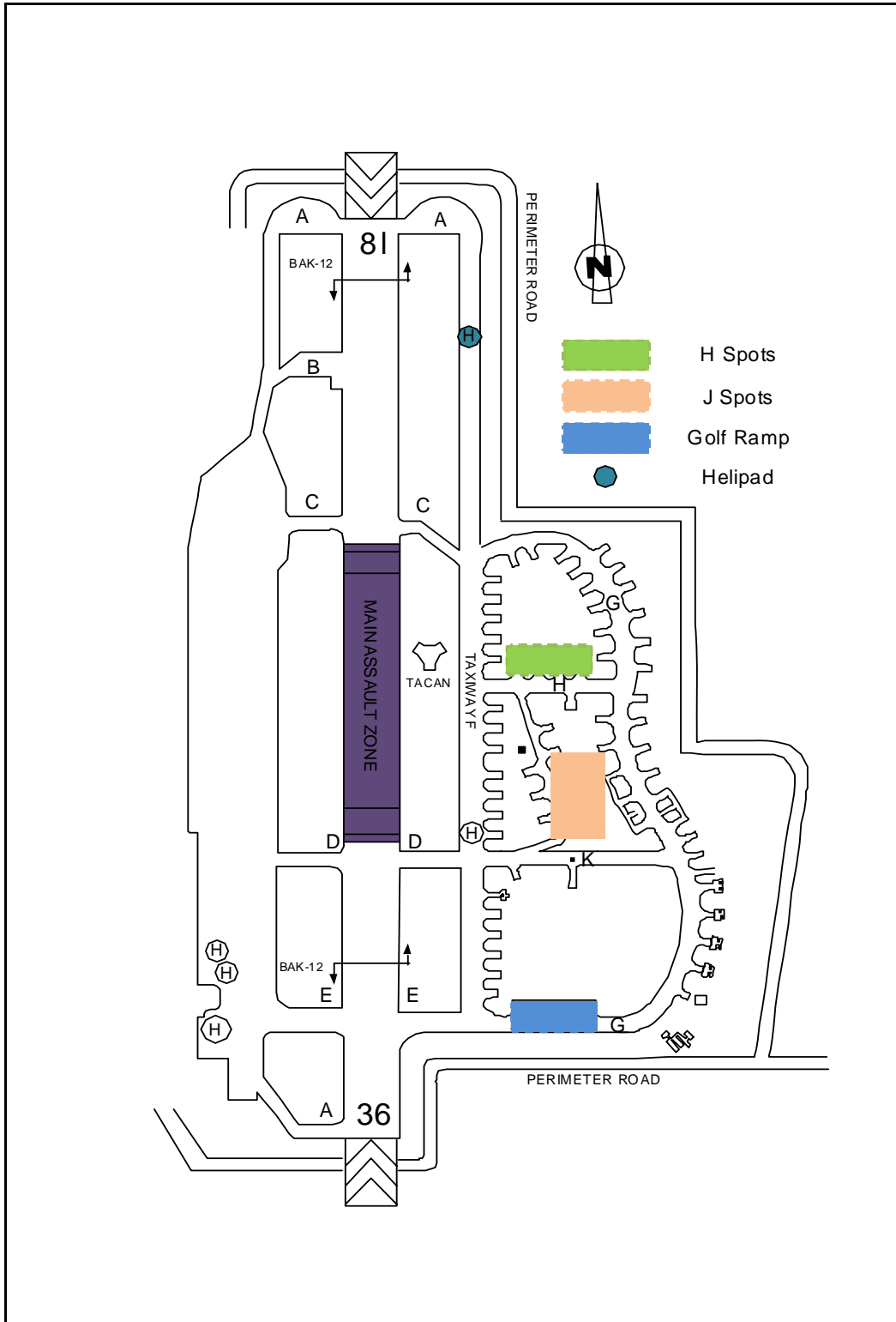
タカンYOK 178° /5nm DME または N35° 40' 00" E139° 21' 54"



Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

横田基地空港見取り図



Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

駐機見取り図



給油、チョークおよびタイダウン

横田では、給油は行えません。チョークは各自持参下さい。タイダウンのためのリングはありません。

地上移動手段

参加機のパイロットおよび乗員乗客は、搭乗機から会議場まで無料バスにより移動して頂きます。出発時も同様です。移動については地上係員の指示に従って下さい。

緊急時について

機長は、緊急時が発生した場合、速やかに管制官にその旨を通報してください。手順については、AIPおよびオペレーティングマニュアル等必要な法規手順に沿って行って下さい。

到着手順

有視界飛行VFRにおける到着

横田アプローチ管制空域に進入する際（または空域内で離陸した場合は可能な限りすぐ）に横田アプローチ管制にコンタクトし、機番（コールサイン）、A T I S記号そして位置方位と高度を通報してください。アプローチ管制が、Y U M I またはK A T A N Aポイントへの推奨飛行方位とスロットタイムに合わせた進入順序立てのためのベクターをアドバイザーとして指示します。巡航高度から指定高度（各 3000、2500、2000 フィート）への降下はパイロットの判断で行って下さい。Y U M I またはK A T A N Aポイント通過までは指定高度を維持して下さい。各機は指定スロットタイムまでに各義務位置通報点（ポイント）に到達するようにして下さい。タワーへの周波数の変更はアプローチ管制よりY U M I またはK A T A N Aポイントに到達するまでに個別に指示します。

Example:

Pilot: "Yokota Approach, JA269X with Echo, five nautical miles south east of Chofu at three thousand five hundred."

Controller: "JA269X, Yokota Approach turn right heading 260, descend at pilot's discretion."

Pilot: "JA269X right to 260."

Controller: "JA269X contact Yokota Tower."

Pilot: "JA269X switching to Tower."

アプローチ管制より周波数の変更を指示され、Y U M I またはK A T A N Aポイントに到達する前に、タワーへ周波数を変更し、機番（コールサイン）と高度、通報点名を通報して下さい。タワーが最終進入高度への降下、他機とのセパレーションのための指示、その他のトラフィック状況などを指示します。

Example:

Pilot: "Yokota Tower, JA269X two thousand five hundred YUMI."

Controller: "JA269X, Yokota Tower maintain at or above two thousand, proceed inbound."

回転翼到着手順

回転翼機は、Y U M I またはK A T A N Aポイント通過後、滑走路中心線の1/4マイル東を、滑走路と平行に1500フィートでF並行誘導路へ向けて飛行して下さい。立川および入間空域と近接していますので、空域誤進入には十分注意して下さい。また地上に複数の航空機および人員が移動、活動している可能性がありますので、C誘導路とG誘導路の北側F並行誘導路への着陸許可がおりるまで、高度を下げないで下さい。

Example:

Controller: "JA269X, proceed as requested, use caution."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

着陸後は、グラウンド管制にコンタクトし、駐機場への指示に従って下さい。トランスポンダーは“Stand-by”または“Off”にして下さい。

Example:

Pilot: “Yokota Ground, JA269X ready to taxi to parking.”

Controller: “JA269X, Yokota Ground taxi to parking.”

ホールディングポイント

固定翼機の進入到着経路が、着陸機集中による混雑の場合、空港西側でのホールドを指示する場合があります。その場合は、可能な限り速やかに 2500 フィートへ上昇し、下記のホールディングポイントへ向かって下さい。ホールド開始時にその旨通報して下さい。

Example:

Controller: “JA269X breakout and hold west of Yokota maintain at or above two thousand five hundred.”

Pilot: “JA269X breaking out.”

“JA269X holding west of Yokota at two thousand five hundred.”

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual



Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

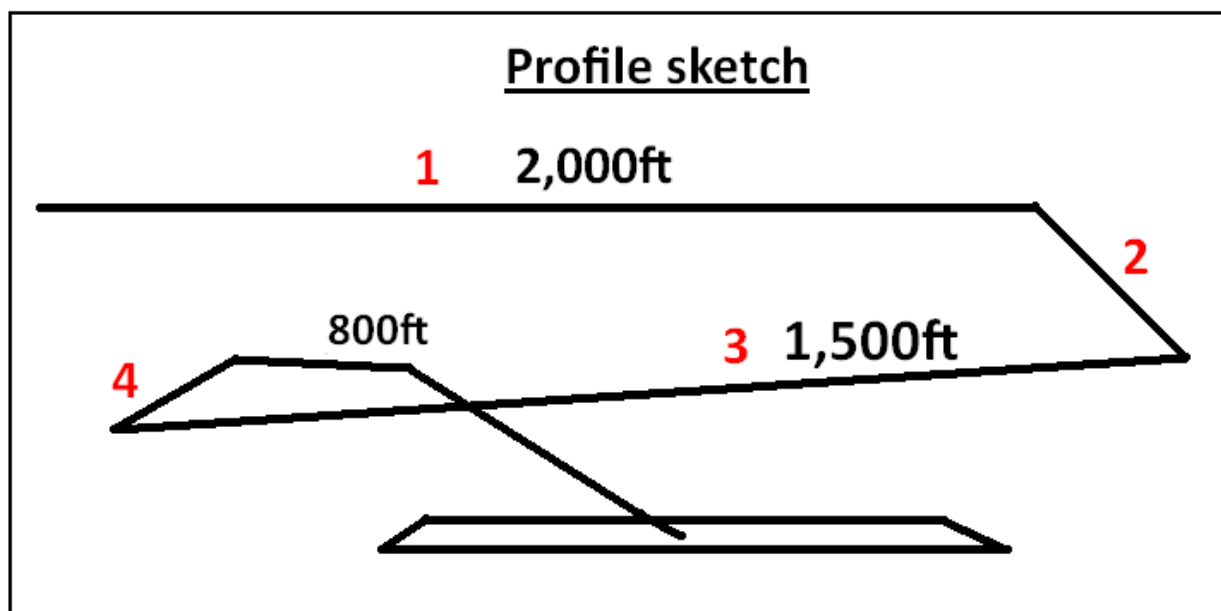
固定翼機到着手順（滑走路 18 使用時）

北からの進入時、入間航空自衛隊基地との誤認、空域進入に十分ご注意ください。ILS / ローライザー（108.7）を利用した、二重チェックを推奨します。

KATANAポイント通過後、滑走路磁方位で2000フィートを維持して下さい。西方向からの風が強い場合、入間基地方向へ流されますので、適宜進路補正し入間基地空域誤進入に注意して下さい。そのまま滑走路を飛行し、滑走路の中間点または管制塔がある地点辺りでライトクロスウインドへターンし、1500フィートへ降下して下さい。滑走路中心線より半マイルから1マイルの地点でダウンウインドへターンし、ダウンウインドに入り次第、位置通報して下さい。

Example:

Pilot: "JA269X downwind."



ベースへのターンは滑走路始点から半マイル地点先程度で開始し、800フィートへの降下を開始して下さい。タワーが着陸許可を出します。

Example:

Controller: "JA269X wind 170 at 4, runway 18, cleared to land, cross approach end at or above 800feet."

Pilot: "JA269X cleared to land."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

滑走路始点上を通過するまで 800 フィートを維持して下さい。着地点は、滑走路の始点から終点（滑走路は全長 11000 フィートあります）の中間を目安としてください。滑走路上に緑と白のライトが着陸目安点として点灯しています。

ゴーアラウンド（着陸復航）手順

他機とのセパレーション上、または滑走路上の航空機人員等回避などのために、ゴーアラウンドの指示を出す場合があります。管制から指示された場合、またはゴーアラウンドを行う際は、1500 フィートへ上昇し、滑走路磁方位を維持し、管制のさらなる指示があるまで、1500 フィートと滑走路磁方位を維持して下さい。全ての参加機が滑走路上で 2000 フィートで通過して進入してくる関係で、1500 フィート以上には上昇しないで下さい。他機との安全が確認され次第、再度ダウンウインドへの進入を指示します。

Example:

Controller: “JA269X go around, aircraft on runway.”

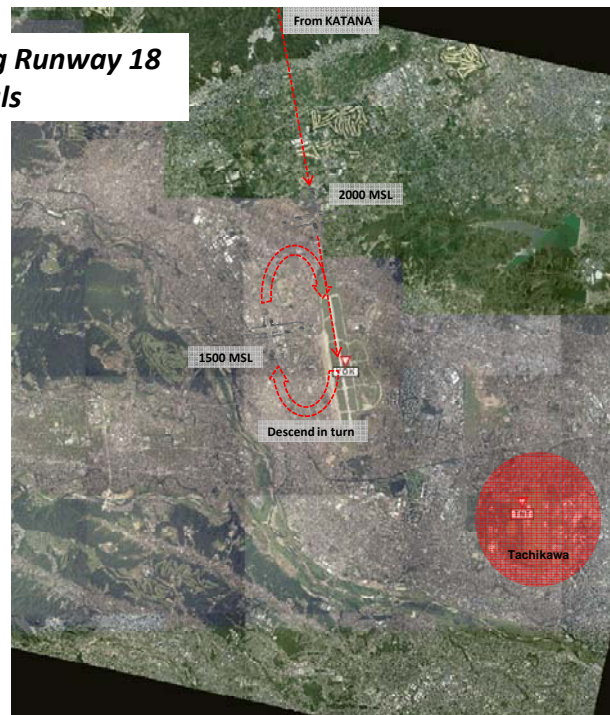
Pilot: “JA269X going around.”

Controller: “JA269X turn left crosswind one mile past departure end. Report left downwind.”

Pilot: “JA269X wilco.”

Pilot: “JA269X left downwind.”

Fixed Wing Runway 18 VFR Arrivals



Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

着陸後は管制官の指示に従い、**東側**D誘導路に進入して下さい。滑走路から離脱後はグラウンド管制官にコンタクトし、駐機場への移動は地上マーシャラーの指示に従って下さい。トランスポンダーは Stand-by または OFF にして下さい。

Example:

Pilot: “Yokota Ground, JA269X off the runway at delta.”

Controller: “JA269X, Yokota Ground taxi to parking.”

固定翼機到着手順（滑走路 36 使用時）

南からの進入時、立川陸上自衛隊駐屯地との誤認、空域進入に十分ご注意下さい。ILS/ローライザー（109.7）を利用した、二重チェックを推奨します。

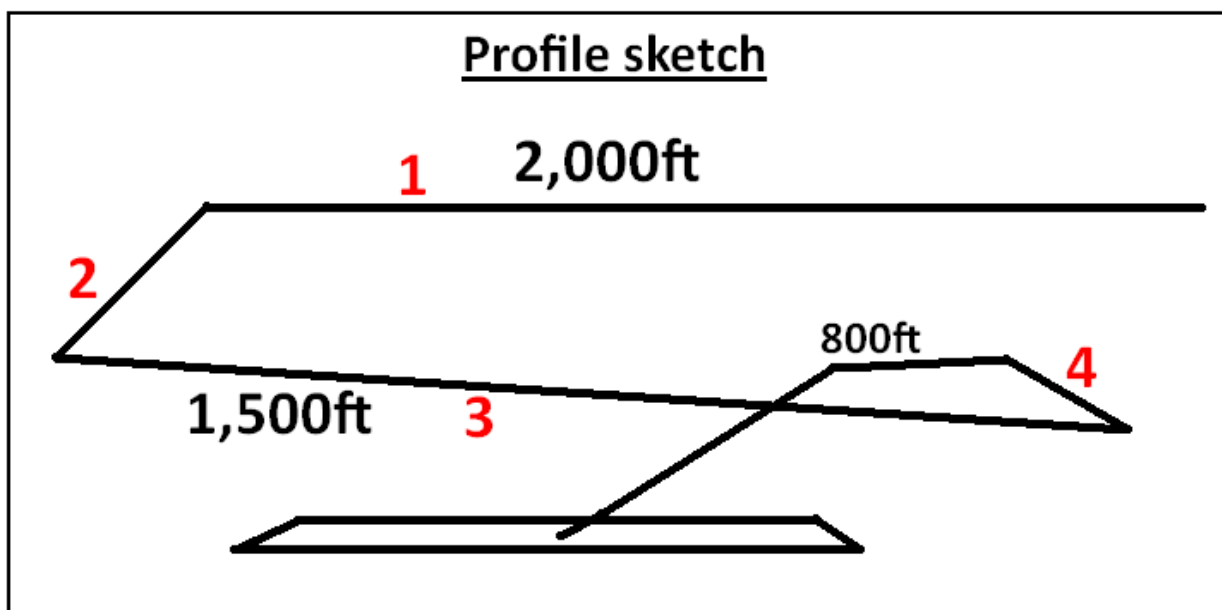
YUM I ポイント通過後、滑走路磁方位で 2000 フィートを維持して下さい。西方向からの風が強い場合、立川駐屯地方向へ流されますので、適宜進路補正し立川空域誤進入に注意して下さい。そのまま滑走路上を飛行し、滑走路の中間点または管制塔がある地点辺りでレフトクロスウインドへターンし、1500 フィートへ降下して下さい。滑走路中心線より半マイルから 1 マイルの地点でダウンウインドへターンし、ダウンウインドに入り次第、位置通報して下さい。

Example:

Pilot: “JA269X downwind.”

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual



ベースへのターンは滑走路始点から半マイル地点先程度で開始し、800 フィートへの降下を開始して下さい。タワーが着陸許可を出します。

Example:

Controller: "JA269X wind 020 at 4, runway 36, cleared to land, cross approach end at or above 800."

Pilot: "JA269X cleared to land."

滑走路始点上を通過するまで 800 フィートを維持して下さい。着地点は、滑走路の始点から終点（滑走路は全長 11000 フィートあります）の中間を目安としてください。滑走路上に緑と白のライトが着陸目安点として点灯しています。

ゴーアラウンド（着陸復航）手順

他機とのセパレーション上、または滑走路上の航空機人員等回避などのために、ゴーアラウンドの指示を出す場合があります。管制から指示された場合、またはゴーアラウンドを行う際は、1500 フィートへ上昇し、滑走路磁方位を維持し、管制のさらなる指示があるまで、1500 フィートと滑走路磁方位を維持して下さい。全ての参加機が滑走路上で 2000 フィートで通過して進入してくる関係で、1500 フィート以上には上昇しないで下さい。他機との安全が確認され次第、再度ダウンウインドへの進入を指示します。

Example:

Controller: "JA269X go around, aircraft on runway."

Pilot: "JA269X going around."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

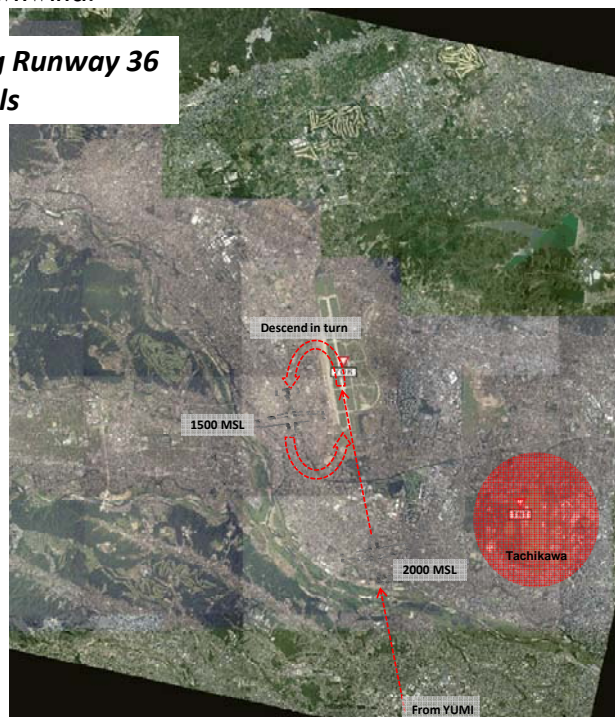
Flight Operations Manual

Controller: “JA269X turn left crosswind one mile past departure end. Report left downwind.”

Pilot: “JA269X wilco.”

Pilot: “JA269X left downwind.”

Fixed Wing Runway 36 VFR Arrivals



着陸後は管制官の指示に従い、**東側C誘導路**に進入して下さい。滑走路から離脱後はグラウンド管制官にコンタクトし、駐機場への移動は地上マーシャラーの指示に従って下さい。トランスポンダーは Stand-by または OFF にして下さい。

Example:

Pilot: “Yokota Ground, JA269X off the runway at charlie.”

Controller: “JA269X, Yokota Ground taxi to parking.”

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

I F R機到着手順

横田における天候が、雲低 2000 フィート以下または視程 3 マイル以下の場合は、計器飛行進入方式を実施します。A T I Sをモニターし、実施中の I F R進入方式を確認して下さい。

滑走路 18 使用時

G P S / R N A Vを利用する場合はB O D A Iを最終経路として飛行計画を提出して下さい。

I L SまたはL O C / D M Eを利用する場合はU L E N Iを最終経路として飛行計画を提出して下さい。

滑走路 36 使用時

G P S / R N A Vを利用する場合はW H I L Yを最終経路として飛行計画を提出して下さい。

I L SまたはL O C / D M Eを利用する場合はO K U R Aを最終経路として飛行計画を提出して下さい。

駐機手順

駐機順序は、基本的に到着順となります。調布飛行場からの参加機は、出発の際の空域混雑防止のため最初に離陸していただきますので、最前列に駐機することになります。回転翼機、モーターグライダーおよび双発機は、安全のため他の参加機とは別の駐機場となります。

駐機の詳細は、マーシャラーの指示に従って下さい。機体が完全に停止した後、通常のエンジン停止手順を行い、機体の固定や安全措置を行ってください。機長は、エンジン停止からバスへの搭乗指示があるまで、乗員乗客の安全確保に努めて下さい。飛び出しや、不注意による他機との接触等が絶対にならないよう、細心の注意を払って下さい。

出発手順

会議スタッフが出発機までの移動へのバスへご案内します。バスは皆様が飛行前点検ができるよう機側まで参ります

有視界飛行VFR出発

回転翼機

回転翼機は、C誘導路とG誘導路北側のF並行誘導路からの離陸となります。横田グラウンド管制に最初にコンタクトする際に、出発方面を合わせてお知らせ下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Ground, JA269X ready to taxi north bound departure."

Controller: "JA269X, Yokota Ground taxi to Taxiway Foxtrot."

Pilot: "JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X contact tower for departure."

Pilot: "Yokota Tower, JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X, Yokota Tower wind 270 at 6 proceed as requested, use caution."

回転翼機はトランスポンダーをALTにして離陸後、滑走路中心線の1/4マイル東側を滑走路に平行に1500フィートを飛行し、横田タワー管制区域（コントロールゾーン）離脱まで維持して下さい。KATANAまたはYUMIポイント到達時に、その旨通報し、その先は個々の飛行計画に沿って飛行を継続して下さい。上昇、進路変更はパイロットの判断となります。可能な場合はアプローチ管制にコンタクトし、レーダーモニターの利用を推奨します。

Example:

Pilot: "JA269X KATANA."

Controller: "JA269X, frequency change approved."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual



固定翼機 滑走路 18 使用時

出発準備が完了し、タクシーのために横田グラウンド管制に最初にコンタクトする際に、出発方面を合わせてお知らせ下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Ground, JA269X ready to taxi north bound departure."

Controller: "JA269X, Yokota Ground taxi to runway 18 at charlie."

滑走路への停止位置標識（ホールドショートライン）手前にて、後方の航空機および人員へブラスト等がかからないよう十分安全確認および措置を取った上で、エンジン試運転を行い、準備が整い次第タワーへ出発準備完了の通報を行って下さい。離陸許可が下りたら、トランスポンダーを ALT にして下さい。試運転に異状があった場合は、滑走路をバックトラック方式で駐機場へ戻る指示を出します。

Example:

Pilot: "JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X contact tower for departure."

Pilot: "Yokota Tower, JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X, Yokota Tower wind 270 at 6 runway 18 at Charlie, cleared for takeoff, cross departure end at or above 800ft."

注) 米国管制方式のため、Line up and wait RWY18 の指示は Position and hold RWY18 と指示されます。

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

バックトラック手順

エンジン試運転に異状があった場合、または離陸順序 1 位で駐機場へ戻る必要が生じた場合は、管制官からの許可を得た上で A 誘導路まで滑走路 18 上をバックトラック（逆方向へのタクシー）して離脱して下さい。なお、米国管制方式のため、Backtaxi という用語が使われることがあります。

Example:

Pilot: "Yokota Tower, JA269X request taxi back to parking."

Controller: "JA269X, Yokota Tower taxi to parking via taxiway Alpha."

Pilot: "JA269X taxi to parking via taxiway Alpha."

滑走路離脱後、グラウンド管制に通報し、その後の指示を受けて下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Ground, JA269X taxi to parking."

Controller: "JA269X, Yokota Ground taxi to parking."

南方向への出発機は—

滑走路 18 離陸後、滑走路磁方位を維持し 2000 フィートへ上昇、Y U M I ポイントへ向かって下さい。Y U M I ポイント到達時に、その旨通報し、その先は個々の飛行計画に沿って飛行を継続して下さい。上昇、進路変更はパイロットの判断となります。可能な場合はアプローチ管制にコンタクトし、レーダーモニターの利用を推奨します。

Example:

Pilot: "JA269X YUMI."

Controller: "JA269X, frequency change approved."

北方向への出発機は—

滑走路 18 離陸後、滑走路磁方位で 1200 フィートへ上昇して下さい。1200 フィート到達後、ライトターンし、1500 フィートへ上昇、滑走路中心線より半マイルから 1 マイル西側でダウンウインドへターンしてください。そのまま指示された 2000、2500 または 3000 フィートへ上昇を継続し、K A T A N A ポイントまで維持して下さい。K A T A N A ポイント到達時に、その旨通報し、その先は個々の飛行計画に沿って飛行を継続して下さい。上昇、進路変更はパイロットの判断となります。可能な場合はアプローチ管制にコンタクトし、レーダーモニターの利用を推奨します。

Example:

Pilot: "JA269X KATANA."

Controller: "JA269X, frequency change approved."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual



Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

固定翼機 滑走路 36 使用時

出発準備が完了し、タクシーのために横田グラウンド管制に最初にコンタクトする際に、出発方面を合わせてお知らせ下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Ground, JA269X ready to taxi north bound departure."

Controller: "JA269X, Yokota Ground taxi to runway 36 at Echo."

滑走路への停止位置標識（ホールドショートライン）手前にて、後方の航空機および人員へブラスト等がかからないよう十分安全確認および措置を取った上で、エンジン試運転を行い、準備が整い次第タワーへ出発準備完了の通報を行って下さい。離陸許可が下りたら、トランスポンダーを ALT にして下さい。試運転に異状があった場合は、滑走路上をタクシーし駐機場へ戻る指示を出します。

Example:

Pilot: "JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X contact tower for departure."

Pilot: "Yokota Tower, JA269X ready for departure."

Controller: "JA269X, Yokota Tower wind 340 at 6 runway 36 at Echo, cleared for takeoff, cross departure end at or above 800ft."

注) 米国管制方式のため、Line up and wait RWY36 の指示は Position and hold RWY36 と指示されます。

タクシーバック手順

エンジン試運転に異状があった場合、または離陸順序 1 位で駐機場へ戻る必要が生じた場合は、管制官からの許可を得た上で D 誘導路まで滑走路 36 上をタクシーして離脱して下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Tower, JA269X request taxi back to parking."

Controller: "JA269X, Yokota Tower taxi to parking via taxiway Delta."

Pilot: "JA269X taxi to parking via taxiway Delta."

滑走路離脱後、グラウンド管制に通報し、その後の指示を受けて下さい。

Example:

Pilot: "Yokota Ground, JA269X taxi to parking."

Controller: "JA269X, Yokota Ground taxi to parking."

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual

南方向への出発機は—

滑走路 36 離陸後、滑走路磁方位で 1200 フィートへ上昇して下さい。1200 フィート到達後、レフトターンし、1500 フィートへ上昇、滑走路中心線より半マイルから 1 マイル西側でダウンウインドへターンして下さい。そのまま指示された 2000、2500 または 3000 フィートへ上昇を継続し、Y U M I ポイントまで維持して下さい。Y U M I ポイント到達時に、その旨通報し、その先は個々の飛行計画に沿って飛行を継続して下さい。上昇、進路変更はパイロットの判断となります。可能な場合はアプローチ管制にコンタクトし、レーダーモニターの利用を推奨します。

Example:

Pilot: “JA269X YUMI.”

Controller: “JA269X, frequency change approved.”

北方向への出発機は—

滑走路 36 離陸後、滑走路磁方位を維持し 2000 フィートへ上昇、K A T A N A ポイントへ向かって下さい。K A T A N A ポイント到達時に、その旨通報し、その先は個々の飛行計画に沿って飛行を継続して下さい。上昇、進路変更はパイロットの判断となります。可能な場合はアプローチ管制にコンタクトし、レーダーモニターの利用を推奨します。

Example:

Pilot: “JA269X KATANA.”

Controller: “JA269X, frequency change approved.”

Kanto Plain Mid-Air Collision Avoidance Conference

Flight Operations Manual



計器飛行方式 IFR 出発

横田基地からの計器飛行出発方式はありません。全ての離陸機は有視界飛行方式にて出発して下さい。